

基礎問題：経絡経穴概論

尾崎朋文

「学習の要点と出題傾向」

鍼灸医学は、経絡経穴を知らずして本来の治療効果が発揮できない事は明白な事実である。故に経絡経穴概論の学習では、経穴の一穴一穴を大切に繰り返し取穴実技を体得される事を熱望する。具体的には、教科書の P5 の「正経十二経脈の流注と接続」、P9 の「骨度法」、P10～15 の「要穴」の項目を熟読していただきたい、これは「経穴各論」の学習上基礎となる項目であるからである。ところで十四経所属の経穴数は 361 穴で、此の数は努力次第で充分吸収できると思うし、又そう願いたいのであるが、止むを得ぬ直前対策として P240・241 に載っている「要穴表」の内容をいろいろの角度から検討し勉強してもらいたい、とにかく難しいと思わずに着実に努力されん事を切に望む次第である。また、P242 の「胸腹部と腰背部の経穴の横並び」も、しっかり覚えたいものである。

経絡経穴概論の出題数は、第 30 回から 13 問から 20 問に出題が増えた。分野別での出題頻度は「経絡と流注」が 18.4%、「特定要穴」が 32%、「取穴法」が 22.3%、「経穴と局所解剖」が 12%である、即ち今挙げた 4 分野で 84.5%を占めている事が分かる。残りの問題は「骨度（分寸）法」が 6%、「奇穴と奇経」が 6.7%、「経絡経穴と現代医学」が 3%で 3 分野併せて 15.5%に過ぎないのである。又出題数の多い経絡の順位を列記すると、1 位膀胱経、2 位脾経、3 位胃経、腎経、胆経、4 位三焦経、任脈、5 位肺経、大腸経、6 位小腸経、7 位心経、肝経、8 位督脈、9 位心包経となっている。これをもう少し分析すると、「経絡と流注」「特定要穴」「取穴法」の 3 分野で 76.6%を占めていたのである。

過去 10 年間の出題傾向では「経穴と局所解剖」5 問 7.8%が第 6 回～8 回に 12 問増えて合計 17 問で 11.7%となり、より重要視されて来たことが分かる、故に今後は 4 分野からの出題が多くなるだろう。経絡別では如何に変遷しているか、第 5 回迄は 1 位膀胱経、2 位脾経、胆経、3 位胃経、任脈、4 位肺経、5 位三焦経、腎経、心経、6 位小腸経、7 位肝経、8 位大腸経、心包経であったが、第 6 回～8 回迄は 1 位大腸経、腎経、2 位膀胱経、脾経、3 位胃経、督脈、4 位胆経、肝経、三焦経、5 位肺経、任脈で一瞥して分かっていただけと思う、以上の事をふまえて問題を作成したが、とにかく教科書を復習することが肝要である。

また、経穴単独の出題ではないが、臨各の出題として「坐骨神経痛の治療点として最適な経穴はどれか」など、経穴と解剖構造物との絡みで、毎回 3～4 問必ず出題されている。一方、近年の経穴の出題として、私の研究である「胸骨裂孔と膈中穴」や「気胸と経穴」など刺鍼の安全性に関する出題も押さえることも重要である。刺鍼部の局所解剖をある程度知る必要にあることから、今後は経穴と局所解剖の出題が多くなる可能性がある。手指などの細い血管や神経などの枝葉的なものは別にして、重要な筋・血管・神経はしっかり押えておく必要がある。

1. 経絡と流注

問題 1 十二経個々の流注の一般的原則で誤っているのはどれか。

1. 手の三陰経は、手から胸に流れる。
2. 手の三陽経は、手から顔面・頭部へ流れる。
3. 足の三陰経は、足から胸腹へ流れる。
4. 足の三陽経は、顔面・頭部から足へ流れる。

問題 2 足の厥陰肝経の流注に相当するのはどれか。

1. 手の薬指の末端（関衝穴）に起こり～頬を経て外眼角のあたりに終わる。
2. 心中に起こり極泉穴に出て～手の小指末端く側（少衝穴）に終わる。
3. 鼻根に起こり下って鼻の外（承泣穴）から～下腿前外側を下り足の第2指外端（厲兌穴）に終わる。
4. 足の第1指爪甲根部外側（大敦穴）に起こり期門穴を経て横隔膜を貫き肺に注ぎ下行して中焦に至り手の太陰肺経に連なる。

問題 3 示指橈側爪甲根部（商陽穴）より起こる経絡はどれか。

1. 足の太陰脾経
2. 手の厥陰心包経
3. 手の陽明大腸経
4. 足の太陽膀胱経

問題 4 足の第1指内側端で接属する経絡の組み合わせはどれか。

1. 手の厥陰経と手の少陽経
2. 足の陽明経と足の太陰経
3. 手の陽明経と足の陽明経
4. 足の太陰経と手の少陰経

問題 5 足の三陰に属さない経絡はどれか。

1. 足の厥陰経
2. 足の太陰経
3. 足の少陰経
4. 足の少陽経

問題 6 前腕前内側（前）の中央を行き掌中（労宮）に入り中指の端（中衝）に出る経絡はどれか。

1. 手の太陰肺経
2. 手の少陰心経
3. 手の厥陰心包経
4. 手の少陽三焦経

2. 骨度（分寸）法

問題 7 同身寸法で正しいのはどれか。

1. 手の母指と中指の指頭を合わせて環をつくり中指の内側にできる横紋間の端を結ぶ間を1寸
2. 手の母指第一節の横幅を1寸半
3. 示指、中指、薬指の第一節を合わせた幅を2寸半
4. 手の示指から小指までの中節を合わせた幅を3寸半

問題 8 骨度法で、1尺2寸でないのはどれか。

1. 前髪際から後髪際まで
2. 腋から季肋（章門穴）まで
3. 脛骨内側顆下際から内果の最も高い所まで
4. 足の長さ

問題 9 骨度法で、膝窩から踵骨上縁まで何寸か。

1. 1尺3寸
2. 1尺6寸
3. 1尺8寸
4. 1寸9寸

3. 特定穴

問題 10 腓骨頭の前下際に取り経穴は何経の要穴か。

1. 足の厥陰肝経
2. 手の厥陰心包経
3. 足の少陽胆経
4. 手の少陽三焦経

問題 11 四総穴の記述で誤っているのはどれか。

1. 肚腹は三里に止め。
2. 腰背は委中に求む。
3. 頭項は経渠に尋ね。
4. 面目は合谷に収む。

問題 12 募穴と背俞穴との組み合わせで正しいのはどれか。

1. 期 門 — 胆 俞
2. 中 府 — 肺 俞
3. 日 月 — 肝 俞
4. 膻 中 — 心 俞

問題 13 募穴と背俞穴との組み合わせで誤っているのはどれか。

1. 章 門 — 脾 俞
2. 京 門 — 腎 俞
3. 関 元 — 小腸俞
4. 天 枢 — 胃 俞

問題 14 俞土穴、原穴で且つ又脈会穴であるのはどれか。

1. 腕 骨
2. 衝 陽
3. 太 淵
4. 丘 墟

問題 15 五俞穴の記述で誤っているのはどれか。

1. 井穴は経脈の出る所、心下満を主治
2. 榮穴は経脈の溜る所、身熱を主治
3. 俞穴は経脈の注ぐ所、体重節痛を主治
4. 合穴は経脈の行く所、喘咳寒熱を主治

問題 16 誤っているのは。

1. 太谿穴は、腎経の俞土穴、原穴で有る。
2. 中封穴は、肝経の経金穴で有る。
3. 少衝穴は、肺経の井木穴で有る。
4. 労宮穴は、心包経の榮火穴で有る。

問題 17 誤っているのは。

1. 足竅陰穴は、胆経の井金穴で有る。
2. 後谿穴は、小腸谿の俞木穴で有る。
3. 曲池穴は、大腸経の合土穴で有る。
4. 液門穴は、三焦経の榮火穴で有る。

問題 18 脾の大絡は次のどれか。

1. 外 関
2. 大 包
3. 豊 隆
4. 蠡 溝

問題 19 経絡と郄穴の組み合わせで誤っているのはどれか。

1. 心 経 — 郄 門
2. 脾 経 — 地 機
3. 膀胱経 — 金 門
4. 三焦経 — 会 宗

問題 20 井穴と部位の組み合わせで正しいのはどれか。

1. 隠 白 — 足第1指外側
2. 大 敦 — 足第1指内側
3. 厲 兌 — 足第2指外側
4. 至 陰 — 足第5指内側

問題 21 手の少陰心経の絡穴はどれか。

1. 公 孫
2. 大 鐘
3. 豊 隆
4. 通 里

問題 22 要穴について正しい記述どれか。

1. 巨闕は、手の厥陰心包経の募穴で有る。
2. 郄門は、手の少陰心経の郄穴で有る。
3. 魚際は、手の太陰肺経の榮火穴で有る。
4. 曲池は、手の陽明大腸経の合水穴で有る。

問題 23 経金穴にあたる経穴はどれか。

1. 陽 輔
2. 陽 谿
3. 中 封
4. 陽 谷

問題 24 足の少陰胆経の絡穴はどれか。

1. 公 孫
2. 大 鐘
3. 豊 隆
4. 光 明

問題 25 経火穴にあたる経穴はどれか。

1. 靈 道
2. 商 丘
3. 復 溜
4. 陽 輔

4. 取穴法

問題 26 取穴法で正しいのは。

1. 神闕穴の上4寸に中脘穴を取る。
2. 神闕穴の上1寸に下脘穴を取る。
3. 神闕穴の下1寸に気海穴を取る。
4. 神闕穴の下3寸に石門穴を取る。

問題 27 取穴法で誤っているのは。

1. 膀胱経の経火穴の崑崙穴は、外果の最も尖った所の高さで、外果とアキレス腱の間に取る。
2. 甲状軟骨上縁と同じ高さ、胸鎖乳突筋の前縁、総頸動脈の拍動部に人迎穴を取る。
3. 頬骨弓中央の下際に客主人穴を取る。
4. 内果の上7寸、脛骨内側面上に中都穴を取る。

問題 28 取穴法で誤っているのは。

1. 迎香穴は、顔面部、鼻唇溝中、鼻翼外縁中点と同じ高さにとる。
2. 肩甲棘のほぼ中央下際に秉風穴を取る。
3. 照海穴は、内果の直下1寸にとる。
4. 肩峰外端の後下際に肩髃穴を取る。

問題 29 取穴法で誤っているのは。

1. 雲門穴は、鎖骨下窩の陥凹部にあり烏口突起の内方、前正中線の外方6寸に取る。
2. 足の三陰経が会する三陰交穴は、内果の上3寸、脛骨内側縁の骨際を取る。
3. 靈道穴、通里穴、陰郄穴はいずれも尺側屈筋腱の尺側を取る。
4. 乳中穴の外1寸、第4肋間に天池穴を取る。

問題 30 取穴法で正しいのはどれですか。

1. 関元は臍の下方3寸に取る。
2. 巨闕は臍の上方5寸に取る。
3. 巨骨は肩甲棘のほぼ中央下際を取る。
4. 曲垣は肩甲棘内端の下際を取る。

問題 31 取穴法で正しいのはどれですか。

1. 期門は前胸部、第6肋間、前正中線の外方4寸に取る。
2. 頭臨泣は瞳孔の直上で、神庭穴と頭維穴を結ぶ線上との交点に取る。
3. 中渚は手背にあり、第4中手指節関節の下、尺側を取る。
4. 承扶は殿溝の中央上際に取る。

問題 32 取穴法で正しいのはどれですか。

1. 商丘＝内果の前上方、舟状骨粗面と内果尖の中央陥凹部に取る。
2. 曲池＝肘外側、尺沢と外側上顆を結ぶ線上の midpoint に取る。
3. 水突＝輪状軟骨と同じ高さ、胸鎖乳突筋の後縁に取る。
4. 下関＝頬骨弓中央の上際陥凹部に取る。

問題 33 取穴法で、正しいのは。

1. 孔最は、前腕前外側、尺沢と太淵を結ぶ線上、手関節横紋の上方7寸に取る。
2. 手五里は、曲池から肩髃に向かい上5寸に取る。
3. 秉風は、肩甲棘の中央下際に取る。
4. 照海は、内果の直下5分を取る。

問題 34 取穴法で、誤っているのは。

1. 衝陽は、足背、第2中足骨底部と中間楔状骨の間、足背動脈拍動部に取る。
2. 靈道～神門迄の取穴は、いずれも尺側手根屈筋腱の橈側を取る。
3. 然谷は、足内側、舟状骨粗面の下方、赤白肉際を取る。
4. 和髎は、頬骨弓後端の下際動脈拍動部に取る。

問題 35 経穴の部位で、正しいのは。

1. 天池は、第4肋間、前正中線の外方5分を取る。
2. 絲竹空は、眉毛内端陥凹部に取る。
3. 膝関は、脛骨内側顆の下方、陽陵泉の後方1寸に取る。
4. 第3後仙骨孔部に、次髎は取る。

問題 36. 取穴法で誤っているのはどれか。

1. 第6肋間で前正中線の外方4寸に期門穴を取る。
2. 第7肋間で前正中線の外方4寸に日月穴を取る。
3. 第11肋骨前端下際に章門穴を取る。
4. 第12肋骨前端下際に京骨穴を取る。

問題 37. 取穴法で誤っているのはどれか。

1. 第4・第5中足骨底接合部の遠位に足臨泣穴を取る。
2. 第1・第2中足骨底接合部の遠位に太衝穴を取る。
3. 第2中手骨中点の橈側に合谷穴を取る。
4. 第4・第5中手指節関節の遠位に中渚穴を取る。

問題 38. 聴診三角に相当する経穴はどれか。

1. 督兪
2. 諶諶
3. 膈兪
4. 膈関

問題 39. 取穴法で誤っているのはどれか。

1. 第5中手骨底部と三角骨の間の陥凹部に腕骨穴を取る。
2. 足関節前面中央の陥凹部、長母指伸筋腱と長指伸筋腱の間に解谿穴を取る。
3. 手関節後橈側で、母指を伸展してできる長・短母指伸筋腱の間に陽溪穴を取る。
4. 第5中足骨粗面の後方、立方骨下方の陥凹部に京骨を取る。

問題 40. 取穴法で誤っているのはどれか。

1. 腋窩の中央に曲泉穴を取る。
2. 頸窩の中央に天突穴を取る。
3. 膝窩の中央に委中穴を取る。
4. 項窩の中央に瘰癧門穴を取る。

問題 41. 内果の上5寸と内果の上7寸脛骨内側面上の陥凹部に取る経穴は。

1. 漏 谷—地 機
2. 跗 陽—飛 陽
3. 蠡 溝—中 都
4. 光 明—陽 交

問題 42. 取穴法で誤っているどれでしょうか。

1. 胆兪：第10胸椎棘突起下縁の高さ、後正中線の外方1寸5分
2. 筋縮：第9胸椎棘突起下縁の高さ、後正中線の外方1寸5分
3. 肺兪：第3胸椎棘突起下縁の高さ、後正中線の外方1寸5分
4. 厥陰兪：第5胸椎棘突起下縁の高さ、後正中線の外方1寸5分

問題 4 3 同じ高さに無い経穴群はどれか。

1. 中極、大赫、归来
2. 膻中、神封、乳中
3. 下脘、石关、太乙
4. 神阙、盲俞、天枢

問題 4 4 同じ高さに有る経穴群はどれか。

1. 悬枢、脾俞、陽綱
2. 至陽、膈俞、膈关
3. 陶道、大杼、附分
4. 神道、厥陰俞、魄戶

問題 4 5 同じ高さに有る経穴群はどれか。

1. 上脘—幽門—関門
2. 陰交—四滿—水道
3. 玉堂—神蔵—乳中
4. 中脘—陰都—梁門

5. 経穴と局所解剖

問題 4 6 大後頭神経、眼神経の領域にある経穴は次のどれか。

1. 風門
2. 百会
3. 天衝
4. 天牖

問題 4 7 顔面神経幹が深部に位置する経穴はどれか。

1. 完骨
2. 聴宮
3. 翳風
4. 天柱

問題 4 8 深部を坐骨神経幹が走る経穴群はどれか。

1. 曲泉、陰包
2. 伏兔、陰市
3. 承扶、殷門
4. 血海、箕門

問題 4 9 大腿神経幹が走り、大腿動脈幹が通る経穴はどれか。

1. 氣衝
2. 環跳
3. 衝門
4. 胞肓

問題 50 誤っているのはどれか。

1. 人迎穴、水突穴、気舎穴に総頸動脈が通る。
2. 橈骨神経は、天府穴、侠白穴の2穴にも走っている。
3. 浮郄穴、委陽穴には総腓骨神経幹が走っている。
4. 合陽、承筋、承山の経穴群の深部を脛骨神経が走り、後脛骨動脈が通っている。

問題 51 肩甲上神経が走る経穴はどれか。

1. 天鼎
2. 天膠
3. 天宗
4. 天容

問題 52 誤っているのは。

1. 消灤穴には、橈骨神経幹が走る。
2. 角孫、耳門、和髎、絲竹空の諸穴に浅側頭動脈が通る。
3. 足三里、上巨虚、条口、下巨虚、解谿の諸穴を走っている神経は浅腓骨神経、通っている血管は後脛骨動脈で有る。
4. 築賓穴は、伏在神経の経路上に有る。

問題 53 経穴と筋で誤っているのはどれか。

1. 合 谷 — 第1背側骨間筋
2. 下 関 — 咬筋・外側翼突筋
3. 天 宗 — 棘下筋
4. 足三里 — 後脛骨筋

6. 奇穴と奇経

問題 54 奇経治療での八総穴の組み合わせで誤っているのは。

1. (衝脈) 公孫 ↔ 内関 (陰維脈)
2. (帶脈) 臨泣 ↔ 外関 (陽維脈)
3. (督脈) 後谿 ↔ 跗陽 (陽蹻脈)
4. (任脈) 列缺 ↔ 照海 (陰蹻脈)

問題 55 足の少陰の別脈はどれか。

1. 陽蹻脈
2. 陰蹻脈
3. 陽維脈
4. 陰維脈

問題 56 奇経とそれぞれの郄穴との組み合わせで誤っているのは。

1. 陰維脈 — 築賓
2. 陽維脈 — 外丘
3. 陰蹻脈 — 交信
4. 陽蹻脈 — 跗陽

問題 57 誤っているのは。

1. 四神聰穴は、百会穴の前後左右各5分の部に4穴をとる。
2. 太陽穴は、眉毛の外端と外眼角との中央から後ろ1寸にとる。
3. 鶴頂穴は、膝蓋骨上縁の中央にとる。
4. 足三里穴の下約2寸に蘭尾穴をとる。

問題 58 誤っているのは。

1. 小児斜差の灸穴は、男児は右肝俞穴と左脾俞穴を取る。
2. 中風七穴の1説と2説及び脚氣八処の穴に共通する経穴は足三里穴で有る。
3. 胃の六つ灸は、膈俞、肝俞、脾俞の左右6穴で有る。
4. 第1腰椎棘突起の下（懸枢穴）の外3寸5分に痞根穴を取る。

問題 59 次の取穴法の正しいものはどれか。

1. 印堂：眉間の中央に取る。
2. 落枕：手背にあり、第2・第3中手指節関節間の近位陥凹部に取る。
3. 翳明：乳様突起の後下縁に取る。
4. 上仙：第6腰椎棘突起と正中仙骨稜第1仙椎棘突起間に取る。

7. 経絡経穴と現代医学

問題 60 撮診点を紹介された博士はどなたか。

1. 中谷義雄
2. 小野寺直助
3. 成田央助
4. 藤田六朗

+

経絡経穴概論

K.Matsuoka,T.Ozaki

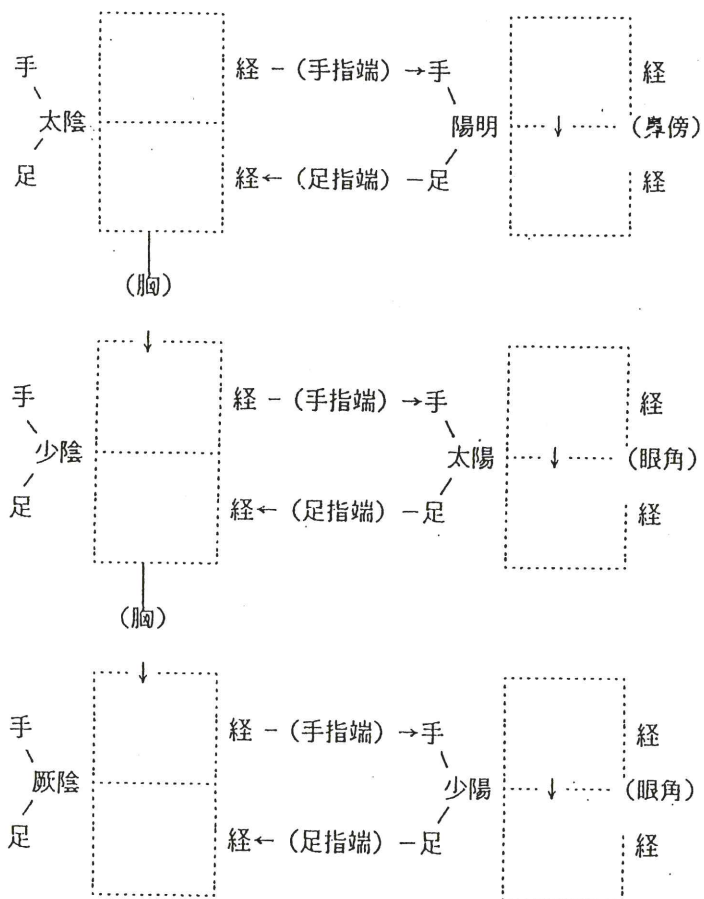
鍼灸国家試験対策

	番号	部位	骨度による寸法
☆	1	前髪際中点～後髪際中点	尺 寸
☆	2	眉間～前髪際中点	寸
☆	3	両額角髪際間	寸
	4	両乳様突起間	寸
	5	頸切痕～胸骨体下端	寸
☆	6	胸骨体下端～臍中央	寸
☆	7	臍中央～恥骨結合上縁	寸
☆	8	両乳頭間	寸
☆	9	左右の肩甲棘内端縁間	寸
	10	中指尖～手関節横紋	寸 分
☆	11	腋窩横紋前端または後端～肘窩	寸
☆	12	肘窩～手関節横紋	尺 寸
☆	13	恥骨結合上縁～膝蓋骨上縁	尺 寸
☆	14	膝蓋骨尖～内果尖	尺 寸
☆	15	脛骨内側顆下縁～内果尖	尺 寸
☆	16	脛骨内側顆下縁～膝蓋骨尖	寸
☆	17	大転子頂点～膝窩	尺 寸
☆	18	殿溝～膝窩	尺 寸
☆	19	膝窩～外果尖	尺 寸
☆	20	内果尖～足底	寸
☆	21	足指～踵（足底）	尺 寸

経絡経穴概論

(鍼灸国家試験対策)

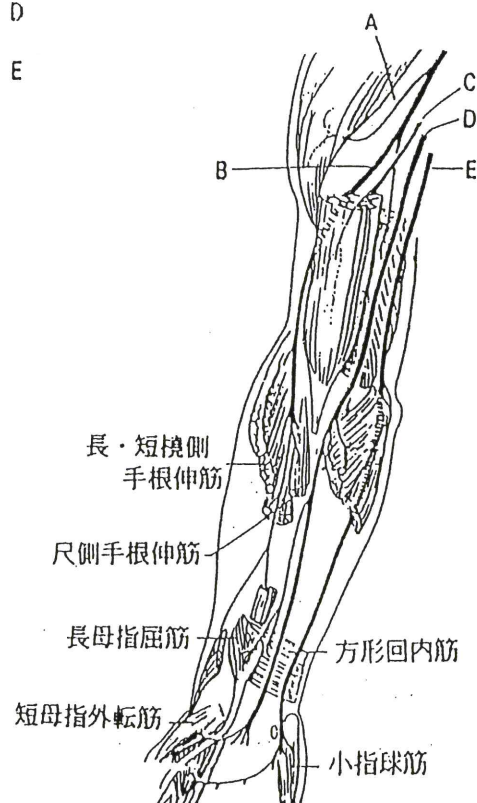
次の [] に適当な語句を記入しなさい。



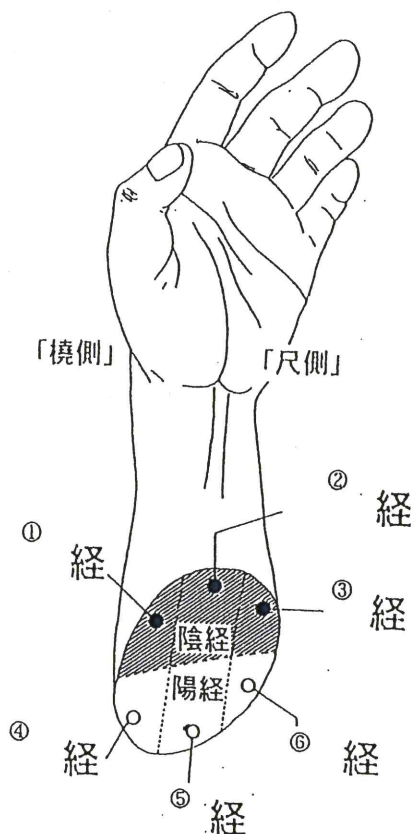
A～Eに該当する神経名およびその神経の走行と類似する経絡名を書きなさい。

神経名 類似経絡名

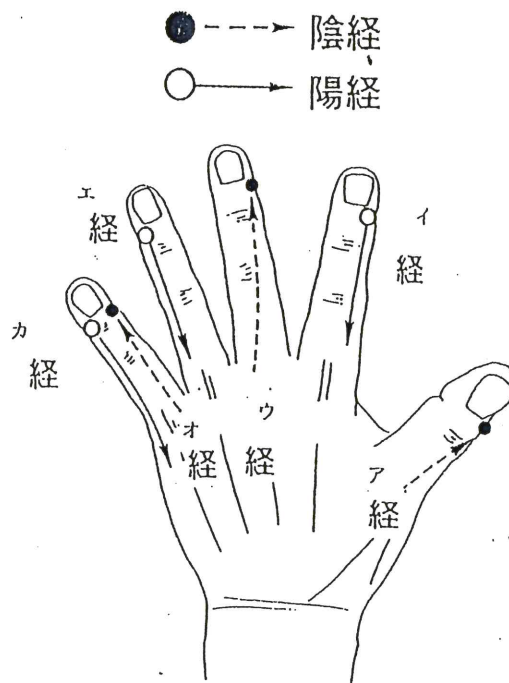
A
B
C
D
E



次の①～⑥に該当する経絡名を書きなさい。



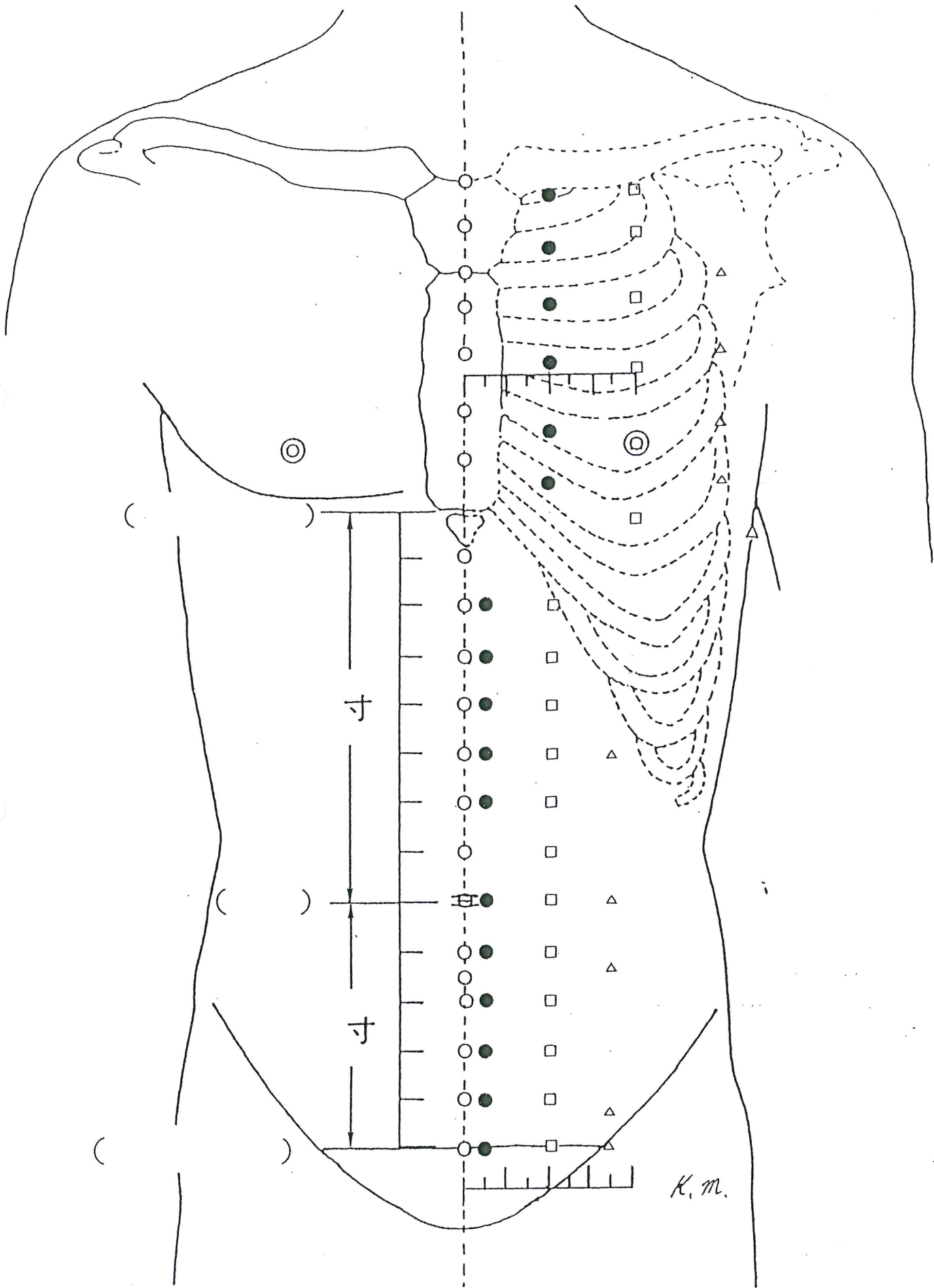
次のア～カに該当する経絡名を書きなさい。



経絡経穴概論

(鍼灸国家試験対策)

胸腹部を走行する経絡上の経穴部位を示す。経穴を線で結び、各経絡名および該当する経穴名をすべて記しなさい。



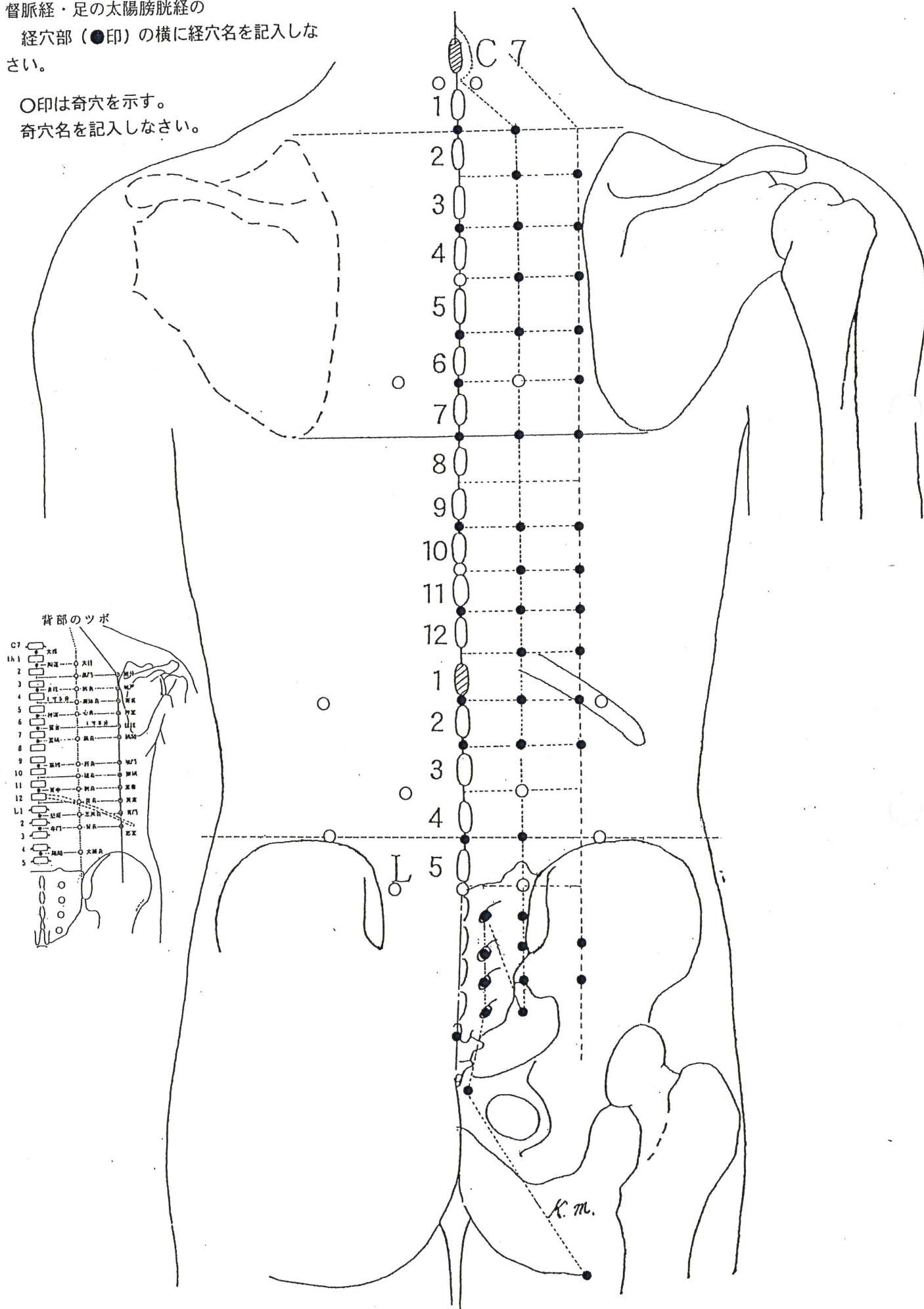
経絡経穴概論 鍼灸国家試験対策

督脈経・足の太陽膀胱経の

経穴部（●印）の横に経穴名を記入しな
さい。

○印は奇穴を示す。

奇穴名を記入しなさい。



経絡経穴概論

要 穴 に つ い て

穴 名		部 位	主 治
五行穴	井 穴 (陰)(陽)	経脈の する所	 (肝経)
	榮 穴 (陰)(陽)	経脈の ^{しん} する所	 (心経)
	俞 穴 (陰)(陽)	経脈の ぐ所	 (脾経)
	経 穴 (陰)(陽)	経脈の く所	 (肺経)
	合 穴 (陰)(陽)	経脈の する所	 (腎経)
原穴	原は三焦を意味し、両腎間に在すると仮定す		臓、腑の疾患に用い、補瀉共に可
郄穴	郄は閉じるとか、くぼみと同意である		疾患に反応が現われ、その治療に用いる
絡穴	邪気実する時によく現われるという		腑の疾患殊に.....疾患に効果があるという
募穴	経の気の多く集まる所に在る (多く腹部)		陽病に効く
俞穴	病をよく治療する穴の意で、背部に在る		陰病に効く
八会穴	腑、臓、筋、髓、血、脈、骨、気の脈の交会する所とし、腑会、臓会、筋会、髓会、血会、骨会、脈会、気会の名がある	腑 会	腑の疾患に用いる
		臓 会	臓の疾患に用いる
		筋 会	筋の疾患に用いる
		髓 会	髓の疾患に用いる
		血 会	血液疾患に用いる
		骨 会	骨の疾患に用いる
		脈 会	脈の疾患に用いる
		気 会	気の異常に用いる
四総穴	肚腹は三里に止め 腰背は委中に求む 頭項は列缺に尋ね 面目は合谷に収む	 (胃 経)	腹部一切の疾患に応用
		 (膀胱経)	腰背部の疾患に用いる
		 (肺 経)	頭項部疼痛に用いる
		 (大腸経)	顔面および目の疾患に用いる
八総穴	公 孫 →	十五絡穴	要穴表中の12絡穴に 尾翳 (鳩尾)・長強・大包を加えたもの
	足 臨 泣 →		
	後 谿 →		
	列 缺 →		

經絡經穴概論

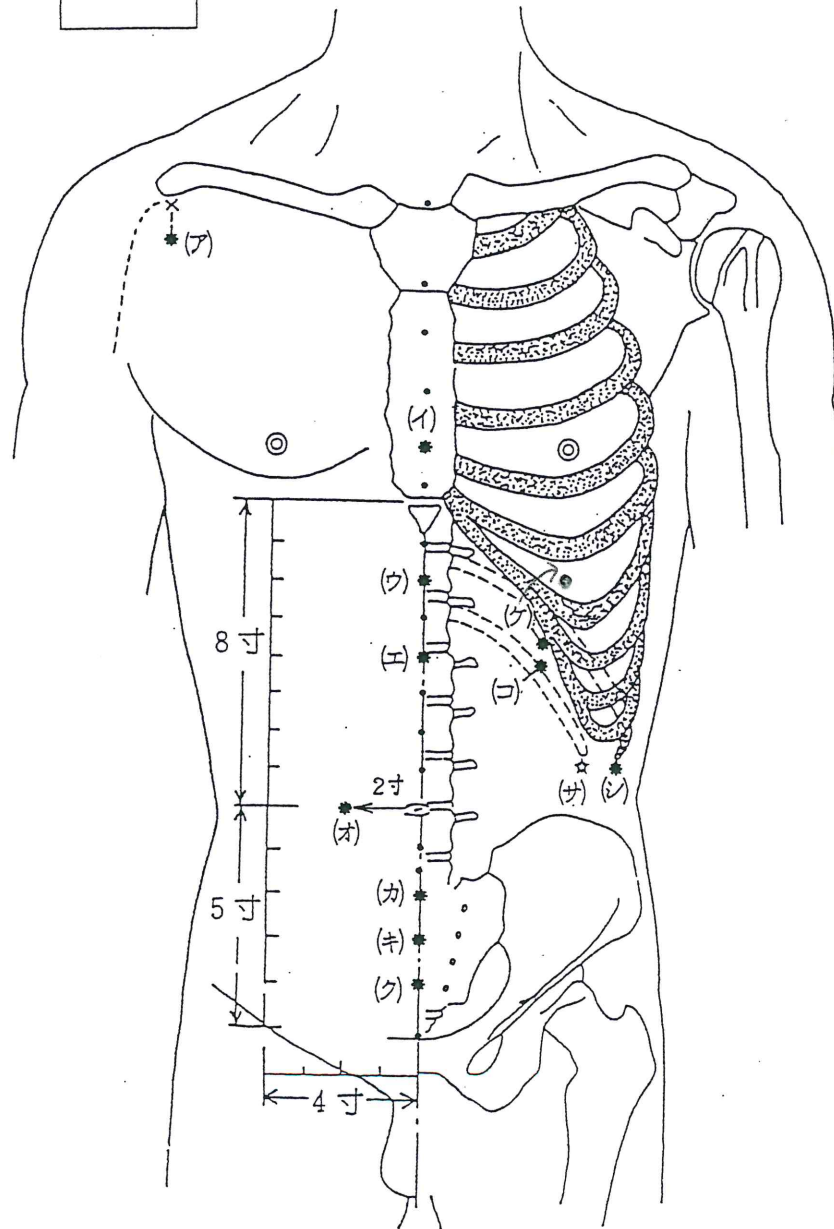
(鍼灸国家試験対策)

[illegible]

経絡穴概論

(鍼灸国家試験対策)

募穴



【募穴名】

【所属経絡名】

【背部俞穴】

(ア)…肺 経の募穴〔	穴；	経〕⇒《	穴》
(オ)…大腸経の募穴〔	穴；	経〕⇒《	穴》
(エ)…胃 経の募穴〔	穴；	経〕⇒《	穴》
(シ)…脾 経の募穴〔	穴；	経〕⇒《	穴》
(ウ)…心 経の募穴〔	穴；	経〕⇒《	穴》
(キ)…小腸経の募穴〔	穴；	経〕⇒《	穴》
(ク)…膀胱経の募穴〔	穴；	経〕⇒《	穴》
(サ)…腎 経の募穴〔	穴；	経〕⇒《	穴》
(イ)…心包経の募穴〔	穴；	経〕⇒《	穴》
(カ)…三焦経の募穴〔	穴；	経〕⇒《	穴》
(コ)…胆 経の募穴〔	穴；	経〕⇒《	穴》
(ケ)…肝 経の募穴〔	穴；	経〕⇒《	穴》

経絡経穴概論 (鍼灸国家試験対策) K. Matsuoka

	手の少陽三焦経 (穴)	(井穴) (火経中の金穴)	(榮穴) (火経中の水穴)	(腧穴) (火経中の木穴)	(原穴)	(絡穴)	(経穴) (火経中の火穴)	(郄穴)			(合穴) (火経中の土穴)
	手の厥陰心包経 (穴)			(合穴) (火経中の水穴)	(郄穴)	(経穴) (火経中の金穴)	(絡穴)	(腧穴) (原穴) (火経中の土穴)	(榮穴) (火経中の火穴)	(井穴) (火経中の木穴)	

	手の太陽小腸経 (穴)	(井穴) (火経中の金穴)	(榮穴) (火経中の水穴)	(腧穴) (火経中の木穴)	(原穴)	(経穴) (火経中の火穴)	(郄穴)	(絡穴)	(合穴) (火経中の土穴)		
	手の少陰心経 (穴)			(合穴) (火経中の水穴)	(経穴) (火経中の金穴)	(絡穴)	(郄穴)	(腧穴) (原穴) (火経中の土穴)	(榮穴) (火経中の火穴)	(井穴) (火経中の木穴)	

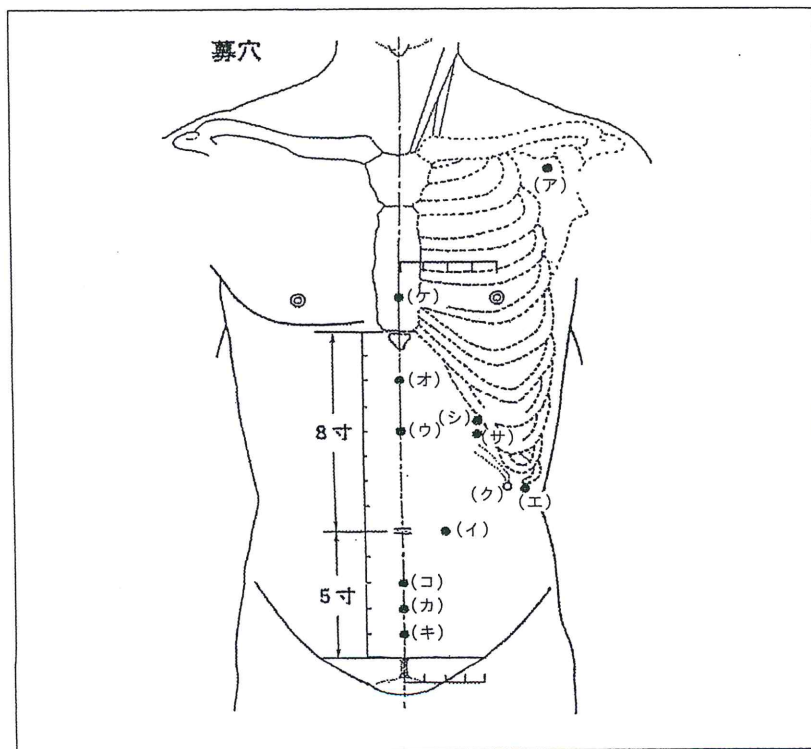
	手の陽明大腸経 (穴)	(井穴) (金経中の金穴)	(榮穴) (金経中の水穴)	(腧穴) (金経中の木穴)	(原穴)	(経穴) (金経中の火穴)	(絡穴)	(郄穴)			
		(合穴) (金経中の土穴)									
	手の太陰肺経 (穴)					(合穴) (金経中の水穴)	(郄穴)	(絡穴)	(経穴) (金経中の金穴)	(腧穴) (原穴) (金経中の土穴)	
		(榮穴) (金経中の火穴)	(井穴) (金経中の木穴)								

V. 募穴

【募穴名：所属経絡名】

【背部俞穴】

(ア)・・	肺 経の募穴	〔 中 府：手の太陰肺経 〕	⇒ 《肺 俞 穴》
(イ)・・	大腸経の募穴	〔 天 枢：足の陽明胃経 〕	⇒ 《大腸俞 穴》
(ウ)・・	胃 経の募穴	〔 中 脘：任 脈 経 〕	⇒ 《胃 俞 穴》
(エ)・・	脾 経の募穴	〔 章 門：足の厥陰肝経 〕	⇒ 《脾 俞 穴》
(オ)・・	心 経の募穴	〔 巨 闕：任 脈 経 〕	⇒ 《心 俞 穴》
(カ)・・	小腸経の募穴	〔 関 元：任 脈 経 〕	⇒ 《小腸俞 穴》
(キ)・・	膀胱経の募穴	〔 中 極：任 脈 経 〕	⇒ 《膀胱俞 穴》
(ク)・・	腎 経の募穴	〔 京 門：足の少陽胆経 〕	⇒ 《腎 俞 穴》
(ケ)・・	心包経の募穴	〔 膻 中：任 脈 経 〕	⇒ 《厥陰俞 穴》
(コ)・・	三焦経の募穴	〔 石 門：任 脈 経 〕	⇒ 《三焦俞 穴》
(サ)・・	胆 経の募穴	〔 日 月：足の少陽胆経 〕	⇒ 《胆 俞 穴》
(シ)・・	肝 経の募穴	〔 期 門：足の厥陰肝経 〕	⇒ 《肝 俞 穴》

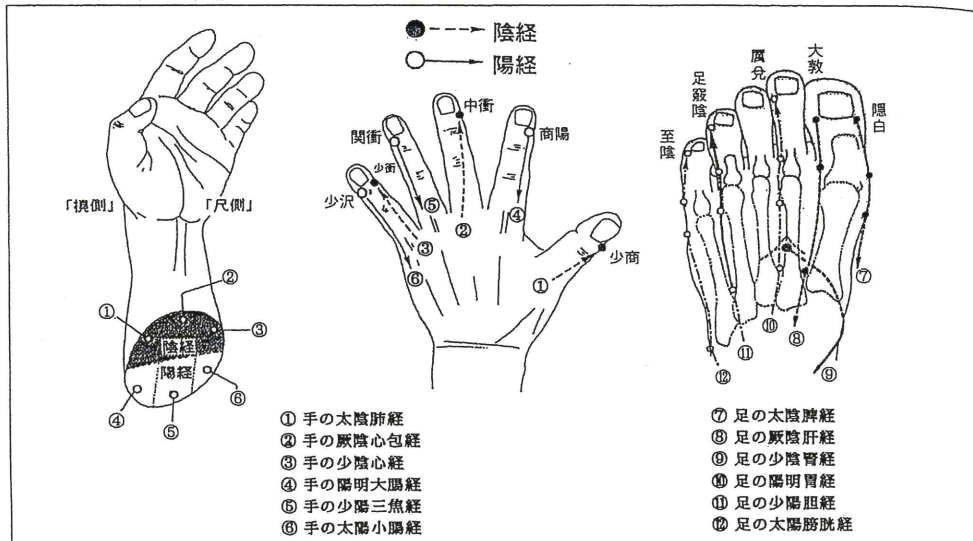


VI. 背部経穴暗記法

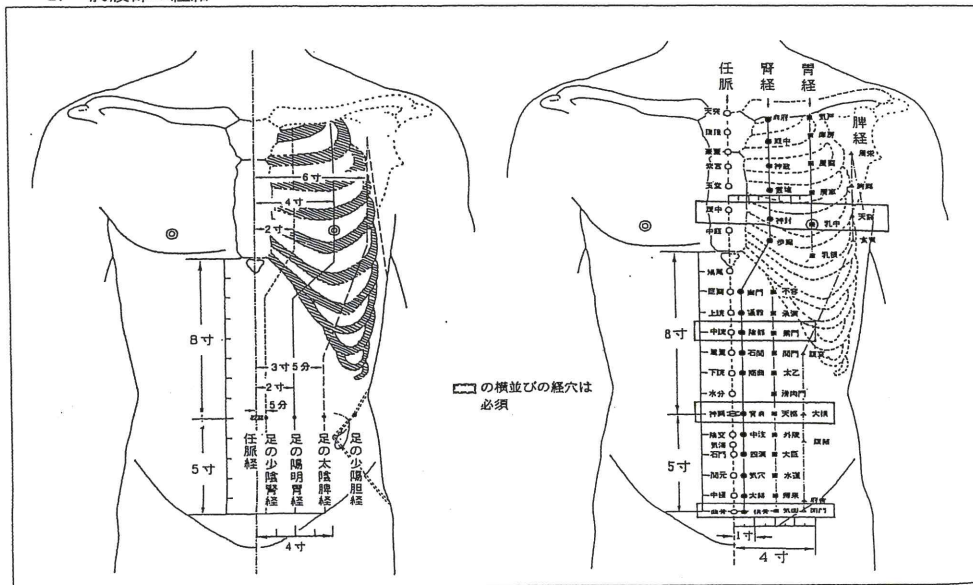
督脈	1.5 寸	3 寸	
C7			
大椎			肩中俞
Th1			
陶道	大杼	肩外俞	一 (1) 刀 (陶道) 大 (大杼) 上段肩外 (肩外俞) の構え
Th2			
	風門	附分	似 (2) てない (なし) 夫 (風門) 婦 (附分)
Th3			
身中	肺俞	魄戶	山 (3) 中 (身中) に入って (肺俞) 魄 (魄戶) をつける
Th4			
	厥陰俞	膏肓	夜 (4) 泣き (なし) は結 (厥陰俞) 構 (膏肓)
Th5			
神道	心俞	神堂	いつ (5) でも神道 (神道) 信心 (心俞) する神童 (神堂)
Th6			
靈台		譚譚	蒸 (6) れ (靈台) ない (ない) パンツ生き (譚譚) 生き
Th7			
至陽	膈俞	膈関	内 (7) 緒 (至陽) で書く (膈俞) 書く (膈関)
Th8			
			やっと休んだ
Th9			
筋縮	肝俞	魂門	苦 (9) しい金縮 (筋縮), 冠 (肝俞) 婚 (魂門) 葬祭
Th10			
	胆俞	陽綱	都 (10) 内 (なし) 探 (胆俞) 訪へようこそ (陽綱)
Th11			
脊柱	脾俞	意舎	侍 (11) の石碑 (脾俞) に医者 (意舎) いらず
Th12			
	胃俞	胃倉	とにかく (12), 良 (胃俞) いそうだ (胃倉)
L1			
懸枢	三焦俞	盲門	意 (1) 見 (懸枢) は参 (三焦俞) 考 (盲門)
L2			
命門	腎俞	志室	兄 (2) さん名 (命門) 人 (腎俞) の資質 (志室)
L3			
	氣海俞		みなない
L4			
陽関	大腸俞		四本も羊羹 (陽関) 食べて大丈夫 (大腸俞)

IX. 経絡関係

1. 手足末端の経絡



2. 胸腹部の経絡



X. 経穴と解剖

1. 経穴部に関連する動脈

経穴名	動脈名	経穴名	動脈名
雲門	腋窩動脈	委中	膝窩動脈
極泉	腋窩動脈	衝門	大腿動脈
青靈	上腕動脈	和髎	浅側頭動脈
大迎	顔面動脈	太衝	第1背側中足動脈
通里・靈道・陰郄	尺骨動脈	人迎	総頸動脈
曲沢	上腕動脈	完骨／天柱	後頭動脈
経渠・列缺・太淵	橈骨動脈	足五里・陰廉	大腿動脈
太谿・大鐘	後脛骨動脈	足三里・解谿	前脛骨動脈

2. 経穴部に関連する神経

経穴名	神経名	経穴名	神経名
天柱	大後頭神経	陽陵泉～懸鐘	浅腓骨神経
承扶・殷門	坐骨神経	攢竹	眼神経、滑車上神経
曲沢～内関	正中神経	四白	眼窩下神経
浮郄・委陽	総腓骨神経	委中	脛骨神経
委中～承山	脛骨神経	小海	尺骨神経
足三里～解谿	深腓骨神経	通里・靈道・陰郄	尺骨神経

XI. 要穴表・暗記法

1. 五要穴・陰経

	肝	心	脾	肺	腎	心包
原穴	太衝	神門	太白	太淵	太谿	大陵
郄穴	中都	陰郄	地機	孔最	水泉	郄門
絡穴	蠡溝	通里	公孫	列缺	大鐘	内関
募穴	期門	巨闕	章門	中府	京門	臍中
俞穴	肝俞	心俞	脾俞	肺俞	腎俞	厥陰俞

昇進は白ブチ軽量めがねで
中東の過激派の基地で降参したら水洗便所で獄門にあった
孔子さんとツーリングに出かけた孫達は列をなして大鐘を内官僚へ届けた
鬼門でこけるとはしょうもない、中府では今日も断食中

漢の大將、中東勵行、でも鬼門
心身激痛、コケにされ
非白地の校章
はい、大変交際が決裂中です
腎、大系の推薦大賞は儲けもん
心配だ、大量のでもん無いかな？大丈夫

2. 五要穴・陽谿

	胆	小腸	胃	大腸	膀胱	三焦	
原穴	丘墟	腕骨	衝陽	合谷	京骨	陽池	急遽腕まくりして小用の間に恵子さんの用事をする
郄穴	外丘	養老	梁丘	温溜	金門	会宗	外丘の養老院よりも梁丘の方が温和で金もあってええそう
絡穴	光明	支正	豐隆	偏歷	飛陽	外關	光明寺師匠の法隆寺歴史本が飛ぶように売れたのは外観がよかったから
募穴	日月	関元	中脘	天枢	中極	石門	月日の加減で中間テストの点数悪くて中国で赤面した
俞穴	胆俞	小腸俞	胃俞	大腸俞	膀胱俞	三焦俞	
	探求外交は日進月歩	少将の腕白養子に諫言したよ	胃経を小療法した中間報告	隊長の轟音通歴の点数	暴行警告！金門飛行中	三省の陽池はええそう！外観は石門だって	

3. 五行穴・陰経

	井	榮	俞	經	合	
肝	大敦	行間	太衝	中封	曲泉	寛大な交換，大賞は中砲での曲芸
心	少衝	少府	神門	靈道	少海	神経，少々恐怖の心霊現象会
脾	隱白	大都	太白	商丘	陰陵泉	死因はだいたい勝因で判断
肺	少商	魚際	太淵	經渠	尺沢	拝啓，少々の魚，大変謙虚に食卓に
腎	湧泉	然谷	太谿	復溜	陰谷	自由な猫は大福でもインコでも食う
心包	中衝	勞宮	大陵	間使	曲沢	心配な中老の宮，大量監視で曲たくさん
	木	火	土	金	水	

4. 五行穴・陽経

	井	榮	俞	經	合	
胆	足竅陰	俠谿	足臨泣	陽輔	陽陵泉	単教員，今日臨時でよう補講した，要領良く
小腸	少沢	前谷	後谿	陽谷	小海	象徴，妾宅の前後を良〜く哨戒する
胃	厲兌	内庭	陷谷	解谿	足三里	異例だ！内偵，勧告会計足三里
大腸	少陽	二間	三間	陽谿	曲池	大将は商用で2，3件余計な曲選ぶ
膀胱	至陰	通谷	束骨	崑崙	委中	暴行が死因と通告，即刻混乱する田舎
三焦	関衝	液門	中渚	支溝	天井	参照，緩衝液中和する試行，天性の才
	金	水	木	火	土	

5. 要穴について

要 穴 表												
陰 経							陽 経					
經 名	木 經	火 經	土 經	金 經	水 經	火 經	金 經	水 經	木 經	火 經	土 經	經 名
井 (木)	太 敦	少 衝	隱 白	少 商	湧 泉	中 衝	商 陽	至 陰	竅 陰	少 沢	厲 兌	井 (金)
榮 (火)	行 間	少 府	太 都	魚 際	然 谷	勞 宮	二 間	通 谷	俠 谿	前 谷	内 庭	榮 (水)
俞 (土)	太 衝	神 門	太 白	太 淵	太 谿	大 陵	三 間	束 骨	臨 泣	後 谿	陷 谷	俞 (木)
原 穴	太 衝	神 門	太 白	太 淵	太 谿	大 陵	合 谷	京 骨	丘 墟	腕 骨	衝 陽	原 穴
經 (金)	中 封	靈 道	商 丘	經 渠	復 溜	間 使	陽 谿	崑 崙	陽 輔	陽 谿	解 谿	經 (火)
合 (水)	曲 泉	少 海	陰 陵 泉	尺 沢	陰 谷	曲 沢	曲 池	委 中	陽 陵 泉	小 海	三 里	合 (土)
郄 穴	中 都	陰 郄	地 機	孔 最	水 泉	郄 門	温 溜	金 門	外 丘	養 老	梁 丘	郄 穴
絡 穴	蠡 溝	通 里	公 孫	列 缺	太 鐘	内 關	偏 歷	飛 陽	光 明	支 正	豐 隆	絡 穴
募 穴	期 門	巨 闕	章 門	中 府	京 門	臑 中	天 樞	中 極	日 月	関 元	中 脘	募 穴
俞 穴	肝 俞	心 俞	脾 俞	肺 俞	腎 俞	厥 陰 俞	大 腸 俞	膀 胱 俞	胆 俞	小 腸 俞	胃 俞	俞 穴

6. 要穴について

要 穴 に つ い て

穴 名		部 位		主 治	
五行穴	(陰木) 井 穴 (陽金)	経脈の出る所		心 下 満	
	(陰火) 榮 穴 (陽水)	経脈の溜る所		身 熱	
	(陰土) 俞 穴 (陽木)	経脈の注ぐ所		体重節痛	
	(陰金) 経 穴 (陽火)	経脈の行く所		喘咳寒熱	
	(陰水) 合 穴 (陽土)	経脈の入る所		逆気而泄	
原穴	原は三焦を意味し、両腎間に在すると仮定す		臓、腑の疾患に用い、補瀉共に可		
郄穴	郄は閉じるとか、くぼみと同意である		急性疾患に反応が現われ、その治療に用いる		
絡穴	邪気実する時によく現われるという		腑の疾患殊に慢性疾患に効果があるという		
募穴	経の気の多く集まる所に在る (多く腹部)		陽病に効く		
俞穴	病をよく治療する穴の意で、背部に在る		陰病に効く		
八 会 穴	腑、臓、筋、髓、血、脈、骨、気の脈の交会する所とし、腑会、臓会、筋会、髓会、血会、骨会、脈会、気会の名がある		腑 会	中 腕	腑の疾患に用いる
			臓 会	章 門	臓の疾患に用いる
			筋 会	陽陵泉	筋の疾患に用いる
			髓 会	絶 骨	髓の疾患に用いる
			血 会	膈 俞	血液疾患に用いる
			骨 会	大 杼	骨の疾患に用いる
			脈 会	太 淵	脈の疾患に用いる
			気 会	膻 中	気の異常に用いる
四 総 穴	肚腹は三里に止め 腰背は委中に求む 頭項は列缺に尋ね 面目は合谷に収む		足三里	(胃 経)	腹部一切の疾患に応用
			委 中	(膀胱経)	腰背部の疾患に用いる
			列 缺	(肺 経)	頭項部疼痛に用いる
			合 谷	(大腸経)	顔面および目の疾患に用いる
八 総 穴	公 孫	→	内 関	十五絡穴	要穴表中の12絡穴に 尾翳 (鳩尾)・長強・大包を加えたもの
	足 臨 泣	→	外 関		
	後 谿	→	申 脈		
	列 缺	→	照 海		

XII. 経絡経穴の現代医学的意義と関連研究 [関連学説]

1. 良導点と良導絡：【中谷 義雄】
一定の疾患に際して、皮膚上の一定部位に通電抵抗の低いところが出現する。電気抵抗の低下は、交感神経の緊張 (立毛筋が収縮し、皮脂の分泌が促進する) と関係があると推定。
2. 皮電点：【石川 太刀雄】
内臓に病変があると、その内臓と関連する皮膚分節 (デルマトーム) の皮下の小血管が攣縮し、皮膚の栄養失調から毛細血管の透過性が亢進し水腫を起こす。このため皮下に半壊死巣 (直径 0.5 ミリ程度) が生じ、通電抵抗の減弱する点があらわれる。
3. 撮診点：【成田 カイ助】
内臓体壁反射としてあらわれるもので、主として疾患のある臓器の存在する部の表層の皮下組織に反応があらわれてくる。患者の皮下組織を検者の母指と示指で摘み、軽く圧迫を加えて調べる。異常があれば他の部位では感じられないビリビリ、ヒリヒリ感があるという。
4. 丘診点：【藤田 六郎】
内臓疾患の際、対応したデルマトーム上に丘疹、紅斑等の皮膚変化が出現し、同部位が経穴と多く一致するという。急性・亜急性期には発赤し、慢性になると蒼白となる。
5. 圧診点：【小野寺 直助】
一定の内臓疾患による一定部位に生ずる著名な潜在性圧痛。指頭により検出し、疾病の診断に利用する。(小野寺臀部圧診点・ボアス点・マックバーネー点など)
6. 平田氏十二反応帯：【平田 内蔵吉】
体幹を十二分節に分け、内臓の異常がその分節に反応をあらわし、これに対応する部が四肢など、体幹以外のところにもあるとし、これを診断点、治療点としたもの。